

■猫：小浦場 祥夫（こうらば さちお）さん

愛猫：立ち耳スコティッシュフォールド「いくら」

Instagram：@ikura_0711

つづいては、北海道からいらした小浦場祥夫さんより愛猫スコティッシュフォールドのいくらちゃんとのInstagram生活についてお話がありました。

「猫を飼い始めたのでInstagramも始めたという感じで、Instagramを始めて1年半すこし経ったところになります。今かなりのフォロワーがいるのですが、どうしてそんなことになったのか、いろいろ振り返りながらお話していこうと思います。」

小浦場さんのInstagramの変遷とフォロワー数分析

愛猫のいくらちゃんは2017年7月11日生まれ。2歳になったばかりです。例会のあった時点でInstagramのフォロワーは45,000人ほどでした。

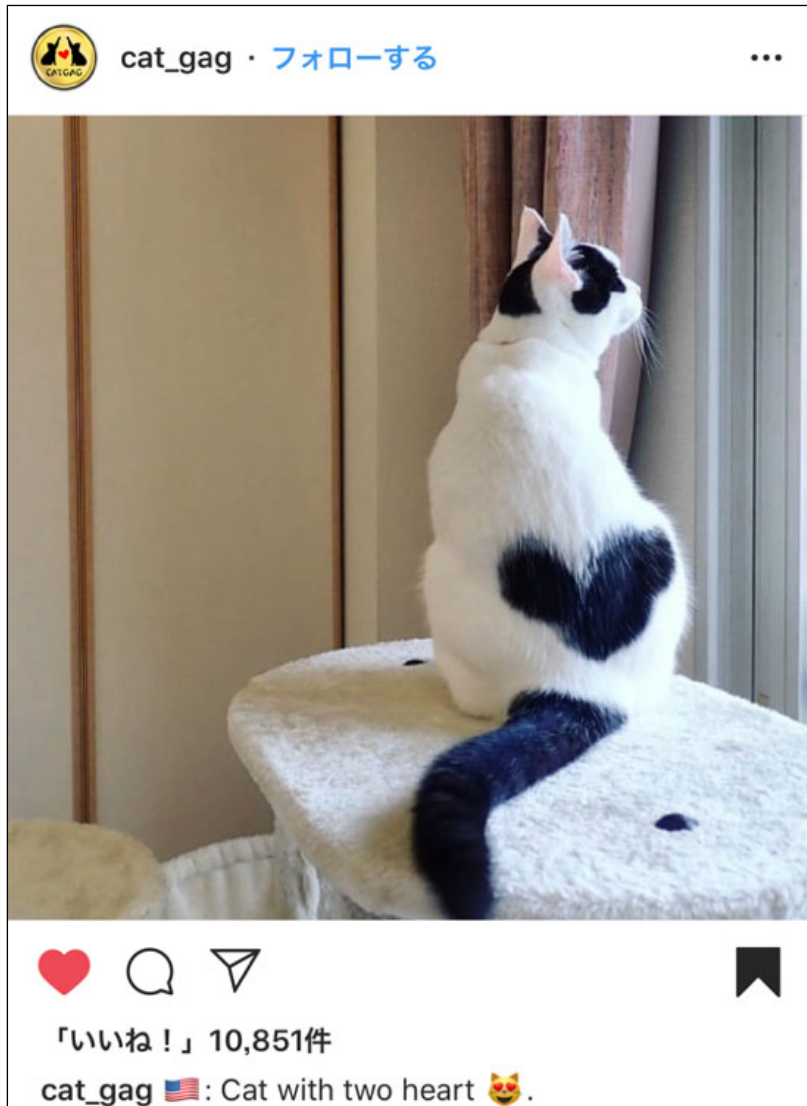
「いくらちゃんの大きな特徴は腰にハートマークがあることです。ハートがあって可愛いからフォロワーも増えるのだろうと思われるかもしれませんが、実際はそんなことはありません。世の中にハート模様を持つ猫は意外といますし、そのような猫のInstagramをやっている人のフォロワーが多いかというと、まったくそうではないものなのです。」

小浦場さんのInstagramのフォロワーの内訳は女性が圧倒的に多く（76%）、年齢層は20～30代が多い状況です。

「年齢層に関してはInstagramを使っている人の年齢層の構成とほぼ同じ感じですね。フォロワーの多い国や都市を見ることができのですが、国で見るとアメリカがトップで次いでインドネシア、日本、台湾、マレーシアとなっています。このうちインドネシアとマレーシアはイスラム教がメインの宗教になっている国なのですが、イスラム教では猫は神聖な生き物とされているようなので、その影響が出ているのかもしれませんが、都市で見ますと、トップは香港、次いで台北、ジャカルタ、バンコク、ソウルとなっています。割と東南アジアの方が多いことがわかります。現在中国ではInstagramが使えませんが、中国で使えるようになると少し状況が変わってくるのではないかと思います。」

現在のフォロワー数への増加には、何がきっかけとなり、どのような変遷をたどっていったのでしょうか。時系列を追って詳しい説明がありました。

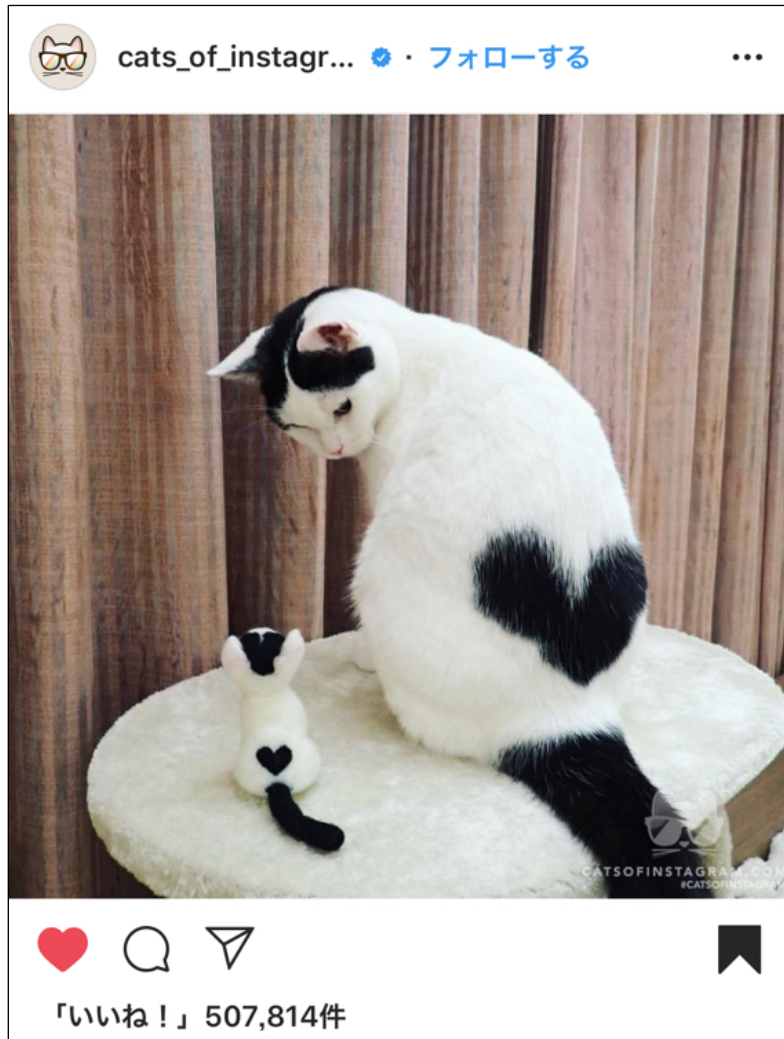
「最初の半年ぐらいはゆっくりと増えていきましたが、特に大きな変化はありませんでした。2018年6月にフォロワーが30万ほどの『cat_gag』という猫のインスタサイトでいくらの写真がシェアされたのですが、30万くらいのところにシェアされても、こちらの方への影響はあまりありませんでした。その後、ananの猫特集にも掲載されましたが、基本的には紙媒体やネットニュース系に記事が載ってもほとんどフォロワー数は増えませんでした。わずかに増えるかな、という程度でほとんど影響はなかったと言えます。」



それではどのようなことがフォロワー数増加のきっかけとなったのでしょうか。

「『Instagram Japan』というインスタグラムが運営している公式サイトがあり、ありとあらゆるおススメの画像がでてくるページになるのですが、そこに写真が載りました。どんな写真だったかと言うと、ペット細工でいくらちゃんの柄を真似た小さな猫のぬいぐるみをつくりまして、それと一緒に撮ったものです。その後、猫専門のインスタグラムのサイトに次から次へとシェアされていきました。中でも一番影響力が大きかったのは『cats_of_instagram』でした。」

cats_of_instagram はなんと、フォロワーが 1,000 万を超えている巨大サイトです。cat_gag の 30 万と比べたら、その影響力がどれだけ違ってくるか、納得するものです。



「cats_of_instagram に載ると、フォロワーの増え方がものすごいことになりました。あっという間にうなぎのぼりになりました。その後もインスタグラムの様子を見ていて思うのは、猫に関して言えば、cats_of_instagram に載るかどうかにより、フォロワー数が何万という世界になるかどうか決まってくる感じだということです。」

cats_of_instagram に載ってフォロワーが急増した後、**イギリスのニュース配信会社のネット記事**で紹介されたことから、さまざまな言語でもいくらちゃんとのインスタグラム生活が世界中で紹介されたそうです。

「ただし、ネットニュースになったからと言って、急にフォロワーが増えたかというところでもありませんでした。やはりフォロワーが1,000万を超えている cats_of_instagram に載るのが強烈な影響があります。さらにいくらちゃん型ぬいぐるみをもうひとつ作り、1匹と2つのぬいぐるみを並べてみたりしています。先ほども言いましたが、ハート模様があればフォロワーが増えるかと言えば全然そんなことはなくて、いかにしてハートを活かすかを考えないとフォロワー数の増加にはつながっていきません。これは、実際にやってみて強く感じたことになります。基本的にはやはり、大きなサイトにシェアしてもらえるような情報が作れるかどうかだと思います。しかしそれは、たまたまその猫が変わった柄や変な癖を持っていたりするといったところになってくるのではないかと、つまりほぼ偶然の産物なのではないかとも思います。」

最近では、いくらちゃんが蛇口から出る水を頭からかぶりつづける動画や（いくらちゃんの好きなことだそうです）、小浦場さんの奥さんがあおむけになり、垂直に上げた足の裏にいくらちゃんをのせて足を上げ下げする動画、ハロウィーンときにはコウモリの羽をつけて動かす動画など、写真だけでなく動画もしばしば載せている

そうです。

「フォロワーには猫を扱っているインスタグラマーが圧倒的に多いので、猫の面白い癖などを載せると、猫好き同士だからこそ通じ合える楽しみ方ができるのだと思います。また、写真にしる動画にしる、アップするとコメントがたくさんくるのですが、コメントを見ると意外な反応や見方があるんだなあと思うことが多々あります。コメントは勉強になりますね。タイトルや説明をどのようにつけるかで見たときの印象が変わってきますので。」

上手にうちの子発信をするには？～生活スタイルの変化

猫を飼い、SNS をやるようになって、生活スタイルにいろいろな面でプラスの影響があったと小浦場さんは言います。いったいどのような影響があったのでしょうか。

「まずは花ですね。花を買って部屋に飾る頻度にはかなり個人差があると思いますが、うちの場合は、花を買っていくらちゃんと一緒に写真を撮る機会が非常に増えました。猫は毛色や柄によって花との相性が違ってくるものなのですが、彼女は毛が白くて鼻がピンクなので淡い色の花とわりあい相性がいいんです。」

花と一緒に撮影するのはいつも窓際と決まっているそうです。

「窓際に花を飾って写真を撮る準備をはじめると、自らそこに飛び乗ってポーズをとってくれます。ただし、ほんの1~2分なので、その短い間にいかにしていい写真を撮るかが重要になってきます。」

このようにして、小浦場さんのお家は花のある生活スタイルへと変わっていきました。

「さらに、季節の行事を楽しむようにもなりました。私は奥さんと二人暮らしなので、それまでは季節の行事を本格的に楽しもうとする感じに必ずしもなりませんでした。なぜ変わったかと言えば、先ほどのお話にもありましたように、毎日投稿をするにはいかにしてネタを作るかが重要になってくるからです。ネタ作りのために季節の行事をちゃんとやってみようというふうになっていきました。」

お正月、節分、ひな祭り、中秋の名月、ハロウィーン、クリスマスなどの行事ごとに、小浦場さんは丁寧に演出した写真を撮っています。中秋の名月のときには、いくらちゃんのサイズに合うように手作りのお団子まで作ったそうです。



「写真はかなり前もって準備します。計画的に撮らないとタイミングよくアップすることができませんので。ある意味それに引きずられて人生の計画が決まっていっているような気もしますが（笑）。

生活スタイルの変化、3つ目はおでかけです。

「猫では珍しいのではないかと思います。いくらはお出かけするのが好きなんです。車ギライな猫が多い中、うちの場合は車に乗ることをまったく嫌がりませんし、ドライブの最中は外を見て楽しんでいます。おかげで車で外に出かけることができますので、花がきれいに咲いているところがあればそこへ行って一緒に写真を撮ったり、北大のイチョウ並木の紅葉を見ながら散歩したりしています。屋外で季節感のある写真を撮って楽しむようになりました。」

車OKのいくらちゃんではありますが、人が多いところはどうしても怖がってしまうそうです。

「ですので、できるだけ人がいない時間帯や人のいない場所を選んで出かけるようにしています。あとはカラスが怖いようですね。」

そして最後は、いくらちゃんの芸達者な面について紹介がありました。

「猫は自分勝手に人のために何かをするということがほとんどない生き物だと思われていますが、うまくしつければ芸をしてくれるようになります。そのモチベーションはあくまでもご飯やおやつで、何か食べられるならば

ちょっと頑張ってもいいかな、という感じです。卓上ベルを鳴らしたり、お座りをしてお手やハイタッチができるようになりました。もれなくその直後のおやつは必須です。」

そして最近には、お気に入りのおもちゃを投げると、取りに行って口にくわえて持ってくるような遊びができるようになっているそうです。猫に芸を教えることも、すっかり生活の中に組み込まれているようです。

上手にうちの子発信をするには？～フォロワーを飽きさせないための小道具

「毎日インスタグラムにアップしていますと、見に来てくれる人を飽きさせない工夫がとても重要になってきます。最初の方で、大きな猫のサイトにシェアされるとフォロワーが急増する話をしましたが、インサイトで見てみますと、増える一方で減っていく人もどんどん出てきます。増える人と減る人のどちらが多いかという世界です。一時的に急に増えることはあっても、毎日何百人単位で減ってもいきます。ですので、減っていく人をできるだけ少なくしていくのも大切で、そのためには見えて面白いと感じるような話題を常に提供しなくてはならないと思っています。」

では、毎回の投稿に興味を持ち続けてもらうために、実際どのような工夫をしているのでしょうか。

「いい影響があるかどうかは分かりませんが、3つのタイプの小道具を使っています。そのひとつは手作り首輪です。首輪に関しては基本的に何をつけても嫌がることはありません。手作り首輪をつけることで季節感を演出したり、首輪にいくらのハートマークのモチーフをつけるなどして、さまざまなタイプのものを作っています。ただし、鈴を使うときには音が出ないようにして使っています。動くたびに首元で音がなるのはちょっと鬱陶しいのではないかと思います。」

そして首輪をつけることには、大きな理由があると言います。

「実は、首輪をつけると顔が丸く写るんですよ。顔が丸く見えたほうが可愛く見えると思うのです。首輪は写真写りをよりよくするための小道具としてもつけたほうがいいと思っています。」

そして2つ目はかぶりもの。

「猫にかぶりものはどうだろう？というところではありますが。私も最初は猫がかわいそうだと言っていたのですが、使ってみるといくらはあまり嫌がらないのです。稀にすごく嫌がるものもあるのですが、そのようなものは二度と使うことはありません。たいていの場合、嫌がっていないのか、つけられていることに気づいていないのか分かりませんが、かぶりものをつけても気にせずに行っていることが多いです。ならばいいかな、ということで、いろいろかぶりものをつけては写真を撮っています。」

3つ目はコスプレになります。

「そこまでやるか！という話もありますでしょうし、やるのもかなり面倒なのでそれほど本格的にはやっていません。これまでに婦長さん、トナカイ、恐竜、サンタさん、イノシシなどのコスプレをしてみました。コスプレの写真撮るのもやはり窓際なのですが、窓際でなら、ちょっと嫌でも我慢して1~2分だけなら撮影に付き合ってくれます。もちろんすべてはご飯のためですが。窓際で何かやったり写真を撮られたりすると、その後には必ずご飯がもらえるのが分かっています。気がのらないときは撮影することなど不可能ですので、決して無理は

していません。』

上手にうちの子発信をするには？～写真をうまく撮るためのテクニック

「いろいろと頑張っていますけど、写真をうまく撮るのは相変わらず難しいと思っています。私が使っているのはほとんど iPhone です。たまにミラーレスの一眼レフも使っていますが、iPhone で撮った写真が圧倒的に多いです。以前、ミラーレス一眼に大きな単焦点のレンズをつけたことがあるのですが、いくらはそのレンズをすごく嫌がりました。大きな動物に見られているような感じでもするのでしょうか、写真を撮ることにたどり着くことができませんでした。一方で、iPhone に関してはまったく警戒することなく好きに撮らせてくれます。』

つづいて写真をうまく撮るための3つのコツを紹介していただきました。

「先ほども少しお話しましたが、1つ目は撮影する場所を決めることです。うちでは窓際とソファの上の2か所が撮影場所になっています。そこが撮影場所なんだと本人がある程度分かったら、気分のいいときには進んで撮影に協力してくれるようになります。』

コロコロと変わる猫の表情については、小道具を使って対応しているそうです。

「チュービームというネズミの形をした赤い光を壁に映せる道具があります。レーザーポインターではないのですが、似たようなものです。いくらはそれがすごく好きなので、チュービームを見ているときには瞳孔がひらいて可愛い目つきになります。もうひとつ、いくらの表情がよくなる大好きなものがアクセサリーです。それも、安物のアクセサリーではダメでプラチナなどの本物のアクセサリーなんです。アクセサリーを目の前にたらずととても楽しそうにするのですが、気をつけないとじゃれついたときにブチっと切られてしまうので、際どい作業になりますね。好きなものを使って可愛い顔を引き出しています。最後、3つ目のコツはご飯の使い方です。ササッと短時間で撮影を済ませてご飯、という流れが非常に重要になってきます。』

上手にうちの子発信をするには？～評判の良い投稿はさらに増幅！

「いいねがたくさんついたりシェアが多かった投稿をいかにして膨らませるかが重要になってくると思います。たとえば、ただ腰にハートマークがあるだけの写真を何度もアップしてもフォロワーが増えるわけではありません。そこで、先ほどもお話したいくらちゃんモデルの小さなぬいぐるみを用意して、一緒に写真を撮って見たところ、急に人気があがるきっかけとなりました。さらにサイズ違いのぬいぐるみをもうひとつ増やしてみました。それもとても好評でした。実を言いますと、その後さらにもうひとつ増やしたのですが、4匹になってもあまり変わりませんでしたね。このあたりについては実際に投稿してみないと分からないところが大きいですが、いずれにしても、可愛いとか面白い模様があるということだけではフォロワーを増やすことはできません。そのような特徴をいかにして膨らませるか、という部分にかかってきます。』

最後に、いくらちゃんとの SNS 生活について次のように締めくくられました。

「いくらと暮らし始めてまだ2年経っていませんが、SNS の発信を意識することで、ペットとの生活がとても彩り豊かになりました。これは本当に変わったところだと感じています。フォロワー数に関しては、増えるかどうかは結局のところ大手のサイトにシェアされるかどうかで決まってくるので、ある意味運次第だということです。運よく面白いものが撮れて、運よくシェアされるかどうかですから、自分でコントロールできないことだと思っています。ただ、多い少ないにかかわらず、フォローしてくれている人が毎日見に来て楽しんでくれるよう

なサイトを作ることは意識した方がいいと思います。そして何よりも大事なのは、ペットとの生活をペットと一緒に楽しもう！ということです。ペットにストレスを与えずに、お互い楽しめる関係でいられることが大切だと思っています。』

－瞳孔が開いている写真を撮るのはすごく難しいと思っているのですが、やはりいろいろ工夫されているのですね。

小浦場さん：本人が大好きで楽しいと思えるものを一生懸命目で追うような状況をつくるのが重要かと思います。暗くすれば瞳孔が開くかと言えばそういうわけでもないのです。瞳孔の大きさを気にされない方もいらっしゃいますが、やはり、瞳孔が開いている方がより可愛くみえると私は思います。

－大手サイトにシェアされたとき、ハッシュタグのつけ方など何かポイントとなるようなことはありましたか？

小浦場さん：ハッシュタグについては、つけている人があまりに多すぎるため、サイト管理者はそこまでチェックしていない状況ではないかと思われれます。cats_of_instagram に関しては、たまに Twitter Week というのをやっています。詳しい仕組みはよく分からないのですが、ツイッターで画像をアップして cats_of_instagram のハッシュタグをつけると、普段より運営サイドがきちんと見てくれるようなものらしいです。とは言え、それでも相当の画像数があるはずなので、パッと見て目に留まる何かがないと厳しいのではないかと思います。一時期は大きな猫のサイトをハッシュタグに入れていましたが、入れても仕方ない印象だったので今は入れていません。あとは、インスタグラムで『おススメ』がありますよね。猫ばかりやっているとおススメに猫の画像がたくさん出てくるのですが、そこにいくらか出ることが結構あるんです。ただし、そこに出すものがどういう基準で選ばれているのかはまったく分かりません。ですが、そこに出ると、少し人の目に触れる機会が増えるためなのか、あるいは、大手サイトの運営者も見ているからなのか、少なからず何か影響があると感じる人が多いです。

－猫にとって毒となる花は結構ありますが、写真を撮るときは大丈夫ですか？

小浦場さん：それはよく言われますね。いくらはまったく花をかじることはしませんので安心してはいますが、花を使うときには一応チェックしてからにしています。いくらが食べたら困るというよりは、花の毒性に関するコメントがたくさんついてしまうのが大変だという部分が大きいです。

西村先生：猫には特にユリ科の花が危ないので、皆さん十分に気をつけてください。